広報
やながわ
YANAGAWA 2009. 1月1日
NO. 91

今号の内容 ページ

◆市長・議長 年頭のごあいさつ 2・3
◆４人の「水郷柳川の匠」 4～7
◆市民のひろば (8-9) ◆川柳 (9) ◆図書館・水の郷ニュース (10-11) ◆情報わいど (12-15) ◆観光シンポジウム・ふるさと柳川メール便 (16) ◆もちふみデビュー (17)
◆保健ガイド (18-19) ◆新市史抄片 (20)

新しい年に猛ダッシュ

市ロードレース大会

12月7日に市ロードレース大会がやまと競艇学校で行われました。吐く息が白くなる寒空の中、875人の小学生と21人の一般参加のランナーが健脚を競いました。各クラスの1位は次のとおりです（敬称略、カッコ内は学校名など）。

▶小学1年生男子＝樽見潤平太（蒲池）▶同女子＝日隈彩香（豊原）▶小学2年生男子＝山川源太（藤吉）▶同女子＝今村奈津希（藤吉）▶小学3年生男子＝金子峰士（昭代第一）▶同女子＝国生有未（六合）▶小学4年生男子＝田中亨（両開）▶同女子＝小川瑠莞（皿垣）▶小学5年生男子＝渡辺遊登（中島）▶同女子＝荒巻花奈（藤吉）▶小学6年生男子＝古賀大晟（中島）▶同女子＝荒牧実李（中島）▶中学生男子＝山田竣（柳城）▶一般男子（3km）＝乗富康太郎（伝習館）▶一般男子（6km）＝池尻薪介（筑紫町）

新 市史抄片 46

正月の神と先祖

正月は、毎年繰り返される年中行事のなかで最も大きな節目である。柳川市内各地の事例をみても、正月には、しめ縄を飾り、トシノモチ（鏡餅）を神棚、仏壇、座敷、玄関、床の間、かまどなどに飾るのがごく一般的な光景であったが、これらは年の始めに当たっての重要な神祭りを意味するのだと民俗学では説明をしてきた。

新年の初めに神に対して餅を供え、自らもそれを食べることは、稲の豊作を祈願し、生命を更新する意味がある。私たちが正月に祭る年神とは、本来は自分たちの先祖の霊なのであり、日本人の神観念の基本にはこのような祖霊信仰があるのだというのが、柳田国男が『先祖の話』（昭和21年）などで展開したいわゆる「固有信仰」論であった。日本人がさまざまな機会に、あまり矛盾も感じないまま教会や寺、神社を行き来でき、一軒の家のなかに神棚と仏壇が同居する理由も、常に信仰の中核に先祖への思いが一貫しているからなのだという説明である。しかし、各地の先祖祭りの実態を見ると、必ずしもこうした考え方では説明できない部分も少なくない。

柳田が戦後間もない時期に「固有信仰」論を積極的に展開したのは、米軍占領下にあった日本社会の将来を考えるうえで、氏神信仰を、人々の内面的倫理形成を基礎づけるものとして重視したからだという見方がある（川田稔『柳田国男―「固有信仰」の世界』未来社）。祖先が神となって祭られるということは、見方を変えれば、人は死後も子孫に健やかで充実した生活を営ませたいという願いを抱いているということであり、それが本当に実現するためには他者や自然との共生を前提とした生き方が望まれる。柳田の「固有信仰」論は、民俗の実態そのものから分析・抽出された考え方ではあるが、そのような社会構想への願望も強く潜んでいたのである。

今日、都市部を中心に、門松やしめ飾り、神棚に餅といった従来の正月の過ごし方も大きな変化を遂げ、個別化が進行している面がある。私たちの過ごす正月にどのような意味があるのか、正月の神が先祖だと説くことにどのような意味があるのか、今日の民俗学では、そのような「民俗学的常識」を再考してみることこそが重要な課題となっているのである。

市史専門研究員　鈴木寛之

三橋町吉開で祭られる「先祖様」の祠（ほこら）

人のうごき

平成20年11月末現在

●人口　73,524（前月比 -63）
男　34,773（ -1 ）
女　38,751（-62）
出生　37人、死亡　79人
転入 132人、転出 153人

●世帯数　24,289世帯（+1）

編集後記

●前号で昨年のニュースを振り返ってみると、いろんな行事やたくさんの人に取材をしたんだなあと改めて実感。不慣れなインタビューや突然の訪問でも、気持ちよく取材に協力いただいて、本当にありがとうございました。本年も「広報やながわ」をよろしくお願いいたします。〈勇人〉

●年末年始、皆さんはどちらへお出かけですか？　私は拝殿が完成した三柱神社へ行こうと思います。昨年は風邪をひき、広報用のパソコンもウイルスに感染してしまいました。体調管理や写真データの受け渡しに気をつけ、今年一年、家族全員元気に過ごせるように祈ります。〈康弘〉

●矢留小学校のもちつきを取材。つきたてのもちや甘いあずきの香りとともにカレーの香りが漂っていた。不思議な感覚に「???」状態になっていると「味見しませんか」の声が。「せっかくだからカレーをどうぞ」とカレーをかけたもちをいただいた。新発見のおいしい味でした。〈久美子〉

●編集　柳川市／〒832-8601 福岡県柳川市本町87-1 総務部企画課広報広聴係 ☎0944・73・8111 FAX74・1374
●ホームページアドレス　http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/　●メールアドレス　kouho@city.yanagawa.lg.jp